

所属	機械工学科	職名	助教	氏名	齊藤 亜由子	記載年月日 (和暦)	平成28年10月28日
I 主な教育活動							
I-1 教育実践上の主な業績(過去3年)							
I-2 クラブ指導における主な業績(過去3年)							
I-3 その他の該当事項(過去3年)							
I-4 校務担当(該当年度も含め過去3年)							
I-5 担当クラブ等(該当年度も含め過去3年)							
II 主な研究活動(著書・論文等の名称)(過去7年以上, 専攻科様式第5号形式とする)							
著書・論文等の名称	単著 共著	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著のみ)			
II-1 (学位論文)							
2. 実滑走計測に基づくスキーターンのメカニズム解明に関する研究(博士論文)	単著	平成28年9月	秋田大学				
1. ダイヤモンドソーワイヤの擦り線化による切断性能の改善(修士論文)	単著	平成25年9月	秋田大学				
II-2 (著書)							
II-3 (学術論文)							
査読有り(受賞1回)							
5. 実滑走における滑走速度と作用力を用いたカービングターンの特性推定に関する研究	共著	平成28年10月 (発刊予定)	スキー研究, 13, 1(掲載頁未定)	齊藤亜由子, 土岐仁, 近藤亜希子, 廣瀬圭			
4. 雪面反力計測によるスノーボードにおけるカービングターンの運動解析に関する研究	共著	平成28年9月	スポーツ産業学研究, 26, 2, p.233-242.	廣瀬圭, 千葉遥, 近藤亜希子, 齊藤亜由子, 伏見知何子, 土岐仁			
3. モデルロケットを用いた中学生向け体験型学習の試み	共著	平成28年7月	工学教育, 64, 4, p.9-14.	齊藤亜由子, 土岐仁, 関啓亮			
2. 小型力センサを用いたスキー用雪面反力計測システムの開発と解析に関する研究	共著	平成27年10月	スキー研究, 12, 1, p.35-41.	齊藤亜由子, 土岐仁, 近藤亜希子, 廣瀬圭, 吉川昌則			
1. Influence of the Cutting Condition on Cutting Performance with Twisted Fixed Abrasive Diamond Saw Wire (ADW) 【日本素材物性学会 山崎賞】	共著	平成26年10月	Int.J.Soc.Mater.Eng.Resour, 20, 2, p.181-185.	Ayuko Saito, Mamoru Takahashi, Yasuyuki Miyano, Osamu Kamiya			
II-4 (研究紀要)							
II-5 (国際学会等発表) 予稿集, 会議論文集があれば付記のこと							
査読有り(受賞2回)							
3. An attempt for developing the measurement system of reaction force from snow surface for private ski boots by compact force sensors 【Young Investigators Award】	共著	平成27年9月	Procedia Engineering, 112, p.326-331. 7th Asia-Pacific Congress on Sports Technology, 23-25 September, 2015, RMIT University, Barcelona, Spain	Ayuko Saito, Hitoshi Doki, Akiko Kondo, Kiyoshi Hirose			
2. An estimation method of ski friction coefficients in ski running on actual snow fields by sensor system	共著	平成27年9月	Procedia Engineering, 112, p.332-337. 7th Asia-Pacific Congress on Sports Technology, 23-25 September, 2015, RMIT University, Barcelona, Spain	Akiko Kondo, Kiyoshi Hirose, Ayuko Saito, Hitoshi Doki			
1. Resource-saving Twisted Diamond Saw Wire (ADW) with High-speed Cutting Performance 【優秀論文賞】	共著	平成25年11月	Proceedings of ICMR 2013 AKITA, p.422-426. The 7th International Conference on Materials Engineering for Resources, 20-22 November, 2013, Akita view hotel, Akita, Japan	Ayuko Saito, Mamoru Takahashi, Yasuyuki Miyano, Osamu Kamiya			

II-6 (国内学会等発表)				
(受賞3回)				
13. 幅広い年齢層に対応した理工系教育活動の試み-日本宇宙少年団秋田分団における宇宙教育活動の実施例-	共著	平成28年9月	平成28年度 工学教育研究講演会 講演論文集 p.396-397.	齊藤亜由子, 土岐仁, 関啓亮
12. 雪面反力計測によるスノーボードにおけるカービングターンの運動解析に関する研究	共著	平成27年9月	日本スキー学会 2015年度研究会 講演論文集 p.28-29.	千葉遥, 廣瀬圭, 近藤亜希子, 齊藤亜由子, 伏見何知子, 土岐仁
11. 実滑走情報を用いたスキー・ターンの解析モデル開発に関する研究	共著	平成27年9月	日本スキー学会 2015年度研究会 講演論文集 p.26-27.	近藤亜希子, 廣瀬圭, 齊藤亜由子, 土岐仁
10. 実滑走情報を用いたスキー・ターンの特性推定に関する研究	共著	平成27年9月	日本スキー学会 2015年度研究会 講演論文集 p.24-25.	齊藤亜由子, 廣瀬圭, 近藤亜希子, 土岐仁
9. モデルロケットを用いた中学生向け体験型学習の効果-中学生モデルロケット秋田県大会におけるアンケート調査結果の報告-	共著	平成27年9月	平成27年度 工学教育研究講演会 講演論文集 p.70-71.	齊藤亜由子, 土岐仁, 関啓亮
8. ウェアラブルセンサシステムを用いたスノーボード・ターンの動力学的解析に関する研究	共著	平成27年3月	日本スキー学会 第25回大会 講演論文集 p.62-63.	近藤 亜希子, 千葉 遥, 齊藤 亜由子, 土岐 仁, 伏見 知何子
7. スノースポーツ用ウェアラブルモーションセンサシステムの開発とスノーボード・ターンの運動学的解析に関する研究	共著	平成27年3月	日本スキー学会 第25回大会 講演論文集 p.32-33.	丹羽 佳祐, 近藤 亜希子, 齊藤 亜由子, 土岐 仁, 伏見 知何子
6. 小型力センサを用いたスキー用雪面反力計測システムの開発に関する研究	共著	平成27年3月	日本スキー学会 第25回大会 講演論文集 p.64-65.	齊藤亜由子, 西川太郎, 近藤亜希子, 廣瀬圭, 土岐仁, 吉川昌則
5. 固定砥粒型ダイヤモンドソーワイヤを用いたジルコニウムへの切断事例 【優秀講演賞】	共著	平成26年9月	2014年度 砥粒加工学会学術講演会 講演論文集 p.194-197.	齊藤亜由子, 中津雅延, 神谷修
4. 金属ろう付けCBNソーワイヤの開発とその有用性	共著	平成26年9月	日本機械学会 2014年度 年次大会講演論文集 S1330202-1 - S1330202-4.	齊藤亜由子, 千葉拓洋, 田中ひかり, 神谷修
3. モデルロケットを用いた中学生向け体験型学習の試み-中学生モデルロケット秋田県大会の実施とその効果- 【研究講演会発表賞】	共著	平成26年8月	平成26年度 工学教育研究講演会 講演論文集 p.548-549.	齊藤亜由子, 土岐仁, 和田豊
2. 固定砥粒型ダイヤモンド工具の切断性能に及ぼすダイヤモンド砥粒形状の影響	共著	平成26年3月	2014年度 精密工学会春季大会学術講演会 講演論文集 p.997-998.	齊藤亜由子, 佐藤達弥, 神谷修
1. 金属ろう付け固定砥粒型ダイヤモンドソーワイヤを用いた各種金属材料への切断 【優秀講演奨励賞】	共著	平成25年12月	2013年度 精密工学会東北支部学術講演会 講演論文集 p.25-26.	齊藤亜由子, 佐藤達弥, 神谷修
II-7 (解説・総説)				
II-8 (特許)				
II-9 (その他)				
III 学内外の主な競争的資金の獲得(採択されたものに限る)(過去7年)				
III-1 競争的資金の名称				
IV 学会等及び社会における主な活動				
IV-1 所属学会(記載時)				
(平成28年度) 日本機械学会, 日本スポーツ産業学会, 日本スキー学会				
IV-2 外部団体からの受賞および表彰(過去7年)				
(学術論文, 国際学会等発表, 国内学会等発表へも記載)				
(平成27年度) 日本素材物性学会 山崎賞受賞(平成27年6月), 7th Asia-Pacific Congress on Sports Technology Young Investigators Award受賞(平成27年9月)				
(平成26年度) 日本工学教育協会第62回年次大会 研究講演会発表賞(平成26年8月), 2014年度砥粒加工学会学術講演会 優秀講演賞(平成26年10月)				
(平成25年度) 素材物性学国際会議ICMR2013 優秀論文賞(平成25年11月), 2013年度 精密工学会東北支部学術講演会 優秀講演奨励賞(平成25年12月)				
IV-3 外部委員会の委員等(過去3年)				

IV-4 その他の該当事項(過去7年)
V 担当教科(該当年度を含め過去3年)
V-1 専攻科(該当年度も含め過去3年)(生産:生産システム専攻, 環境:環境システム専攻)と略記
V-2 本科(該当年度も含め過去3年)(M:機械工学科, E:電気情報工学科, C:物質工学科, B:環境都市工学科)と略記
(平成28年度) 工業熱力学Ⅱ(4M), 熱工学(5M), 機械工学実験Ⅱ(5M), 基礎研究(4M)